

麻生ニュースリーダー

vol.2

血栓回収術について小林聡医師が担当します。

血栓回収術って？

脳梗塞は血管が詰まることにより脳の組織が死んでいく病気です。そのため治療は一分一秒でも早く行う必要があります。

今日の脳梗塞治療は日進月歩で進歩しており、カテーテルを用いて血栓を取り除く急性期血栓回収術の適応が拡大しました。それゆえ、治療対象となる患者さんは年々増加しています。

当院では、2019年8月に最新の血管造影装置を導入しました。最新型装置による患者さんのメリットは、診断、治療のスピードや質の向上だけではありません。放射線の被爆量を今までの半分に減らすことが可能となりました。

当院の実績は良好であり、最新のデバイス(機器)を用いて高い再開通率が得られています。

今回新たに導入した装置により、より低侵襲で、より良い治療ができるものと考えています。

小林 聡

日本脳神経外科学会専門医
日本脳神経血管内治療専門医

血管造影装置（DSA装置）：動脈内にカテーテルという細い管を挿入して造影剤を注入することで、血管の詳細な画像を撮影することができます。最新のコンピュータ処理により毛細血管レベルの細かい血管の画像を撮影したり、血管の3次元画像も撮影することができます。また、狭くなった血管を広げたり、動脈瘤を治療するなど、血管の内側から治療を行う際に、この装置を使用して画像を確認しながら行います。当院に設置されている血管造影装置は、従来の装置よりもX線の被曝線量が約半分ですむ最新型の装置です。 放射線科科長 小寺秀一



入退院支援センターの新スタッフのご紹介☆

はじめまして！

昨年6月より入退院支援センターに配属となりました、佐藤です。

お手紙をお持ちになっている患者様や地域医療機関様の受診予約のお手伝いをさせて頂いております。

まだまだ不慣れではありますが、親しみを
持って頂けるようなスタッフとして
地域の皆様と関わっていきたいと思います
ので、宜しくお願いします。



- 個人で紹介状をお持ちの患者様
- 地域医療機関からのご紹介
- 回復期リハビリ病棟へのお問い合わせは
入退院支援センターまでお電話下さい！

代表TEL 011-731-2321